

Las lenguas de España

このゼミでは、参加者各自あるいはグループが、スペインで用いられる言語を題材にした研究テーマを定め、それについて調査・報告をする。

「スペインで用いられる言語」であるため、スペイン現行憲法に定められている公用語カスティーヤ語 (castellano)(1・2 年のスペイン語のクラスで学んだあのスペイン語)に加え、6自治州が公用語として規定している言語、カタルーニャ語 (catalán, lengua catalana propia de las Islas Baleares:カタルーニャ及びバレアレス諸島)、バレンシア語 (valenciano:バレンシア)、バスク語 (euskera, vascuence: バスク及びナバラの一部地域)、ガリシア語 (gallego:ガリシア)をテーマとしても構わない。

着目点としては、単一言語内部でのテーマを調べてもよい --- 例えば「カスティーヤ語の文中での también の位置」とか --- し、複数言語間の文法事項の比較でもよい。また、言語そのものではなく、複数言語国家スペインとして、その言語を取り巻く社会的状況を比較・考察するのも面白いだろう --- 例えば、メディアでそれぞれの公用語がどのように扱われているか、など ---。

まず始めの数回の授業で概論的な講義をした後、各自・各グループが実際に文献収集、調査の作業に移る。授業ではその調査の進展段階を報告し、ゼミ参加者で討論する。最後に 12000 字程度のレポートを作成する。

テーマが「スペインで用いられる言語」であるため、スペイン語で書かれた文献を数多く読む必要が生じる。したがって、ある水準以上のスペイン語能力が必要とされる。また、言語に対する興味・問題意識を常日頃感じている学生が望ましい。